

< 居宅介護支援 >

問 12 ケアマネージャーが関わることで、ご本人やご家族など介護者の生活は向上しましたか？

・ 介護サービスについて分からない事などくわしく説明して下さい、区役所から来た書類なども電話ですぐ対応して下さい助かっています。

・ 一時寝たきりになった時に、昼間家族がいない時のケアの手配をして下さり療養に専念できた。ベッドの柵や風呂の椅子、歩行機、車椅子の貸与のお陰でできるだけ本人がうごける様になった。食事のサービス、訪問入浴も楽しみにしています。

・ 本人が歩く練習がしたいと希望したら、すぐに動いて下さり、次の週には歩行訓練を出来る環境を作って下さった。

・ 困っていることを雑談の中で話していても、適切なサービスを提案してくれる。無駄なサービスまでは提案しないので、気軽に話せて助かっています。

・ 直接ヘルパーさんに言いづらい事など傷つける事もなく、ケアマネージャーが対処していただける事等。

・ 家族が言う事にはなかなか耳をかさないがケアマネージャーから話してもらうと素直に受け入れてくれることが多い。

・ 自分の時間が少し持てるようになった。

・ 別居しているので普段の様子がわかりにくいですが、何か変わった事があると必ず報告してもらえるので助かっています。

・ 介護者に何かあって面倒が見られなくなった時のアドバイスをいただき安心することができました。

・ 家では1日中何もやれないと言ってソファーに座りテレビを見ているだけで体を動かす機会が少ないが、デイサービスでは色々な運動を全部しっかりやっていて、皆とお話もでき、よかったと思います。

・ 何度かプランを立ててもなかなか本人が納得せず生活が安定出来ませんでした。ケアマネージャーと相談しながら良い方向に行く様に努力し今ではとても生活が安定しております。

・ 入院により足が弱って歩けなくなりました。退院後、訪問リハビリをケアプランに入れてもらい、支えがあれば少し立つ事が出来る様になり、車椅子への移乗も、介護者は少し楽になりました。また、理学療法士さんに介護者でも出来る事を教えてもらい、手足を動かしたりしております。

・ 本人の精神状態が非常に不安定になる事が多く、激しく怒ったり鬱になったり、気まぐれな発言、行動で家族を悩ませていた時期が長かったのですが、私の相談によく対応して下さい、適切な対処ができてきたと思います。現在は安定して生活を送っています。

・ ショートステイの回数利用を、こんな時は、この様に使って利用すると良い等、色々な案を家族介護者の身になって、教えて下さるので助かっている。

・ デイサービスに行った事を帰ってきてすぐ忘れても否定しない。本人のプライドを傷つけないようにとアドバイスをいただき家族が本人に対する態度が柔らかくなった。

・ 今までには年令のわりには健康でいろいろなことにも関わっていましたが急に体が思う様に動かなく、とても不安な日々でした。そんな時に介護支援サービスをうけられる様になり、本当に心強くなりました。今は病気と向き合って生活出来る様に二人で頑張っていこうと思っています。

・ 何もしないで、ほとんど寝ている方が多かったが、サービスを受ける事でメリハリがつき、昼夜逆転が改善された。

・ 初めてのことで右も左もわからず、老いていく母親をかかえ不安だったが、そんな状態の私共の必要性を即座に把握し、対応して下さり助かりました。リフォーム（手すり、段差の解消）他の介護用品のサービスの受け方（ベッド、ポータブルトイレ、車イスなど）在宅の病院との連携も心強いものとなっています。

問 14 あなたが「居宅介護支援サービス」を利用する上で(または事業所を選ぶ上で)大切と思うことは何ですか？

- ・ ケアマネージャーさんに口頭で制度やサービス内容等、ご説明頂く方が理解しやすく、サービス利用の近道と考えるからです。また、本人とケアマネージャーさんとの信頼関係を築いていく事は、特に重視すべき点だと考えます。
- ・ 精神的な疲れの時とても楽になれます。身が軽くなる様に感じます。
- ・ 介護というものは、想像以上に大変な事で、実際に関わった者しか持てない悩みでもあります。介護される側も介護する側も共にできる限り少しでも負担にならないように生活していきたいものです。その為には、居宅介護支援とは、とても大切であり、私達の心のよりどころでもあります。今後もケアマネージャーの援助を受けながら、少しでも快適な生活を送れる事が私達介護者の願いです。
- ・ 費用負担に相応のサービスが受けられケアマネージャーが行政と利用者の間に入り今後もアドバイスして欲しい。
- ・ 母の介護で、外に出る機会が少なく、またインターネットの利用も出来ないので、情報が少ないと感じているので。
- ・ 介護側にも生活があるので、工夫しながら都合をつけながら頑張っ、介護しようとするのですが、どうしても無理が出てきてしまう場合があります。そこを一緒になって、色々と考えていただき、負担が少しでも減るようにと助けただけでいることに、いつも安心感や信頼感が持てます。泣きたくなることもたくさんありますが、笑顔で介護ができるのは、いつもグチを聞いていただけ適切なアドバイスをいただけるケアマネさんのおかげとっております。
- ・ 高齢者は「今すぐに、何とかしてほしい」と、いう状態によくなります。そんな時、すぐに対応して下さったり、安心できる返事をくださったりして、助かりました。精神的フォローが大きいです。
- ・ 利用者が老人であるので体調の変化等も急である事が多いので臨機応変で柔軟な対処が大切だと思っております。

・生活が困らないように、次から次へと必要な手続きをとり、サービスの向上をはかってもらえることで家族として安心した介護生活ができます。家族には専門的な知識やそれを学習する時間ももてる状態ではないので、ケアマネジャーに頼るしかありません。そのケアマネジャーさんが、次へ、次へと制度を利用し生活を維持していただけるのは、何よりも安心を感じます。

・本人が楽しくデイを利用できる、その間に家族が自由に過ごせると心に余裕ができる。そうすればやさしく本人に接することができると思う。介護しなければとがんじがらめにならなくてよいと思う。

・介護は毎日毎日の繰り返しです。直接毎日かかわり続けるのは介護者です。平穏な毎日ばかりではありません。時に心が折れそうな事も度々です。精神的な支え、いやしが必ず必要なのです。精神面でバックアップを得られれば毎日の日常の繰り返しもがんばる力が湧いて来るのです。

・個人情報絶対に言わない。介護の人の事もよく考えて下さっている事。色々むずかしい事をきいても、一緒に役所などに付きそって下さる事。本当にありがたいと思っております。

・介護保険でどのようなサービスが受けられるのか（今受けているサービス以外で）を頭に入れておきたい。今よりも本人の状態が悪くなった時は、どのようなサービスがあるのか、また、特養を将来見据えて、今のうちに申し込んだ方が良いのか等、先々のことを心配しているからです。

・介護者の疲労の程度を事前に察してくれて、様々なサービスの利用による負担軽減を提示してくれ、介護期間が長期化することによる精神的負担感（時として絶望感になる気持）を救ってもらえたから。1回でも多く、オムツ交換してくれる他者がいることは本当に救いです。

・小さい赤ちゃんが同居しており、また、主な介護者の体調も良いとは言えないので、急にショートステイを利用したい時など、とてもよく動いてくれ、いろいろな提案もしてくれ、助かっています。